平成 24 年 11 月 2 日

各　　位

会 社 名　ミネベア株式会社
代表者名　代表取締役 社長執行役員
貝沼 由久
（コード番号　６４７９　東証第１部）
問合せ先　常務執行役員
管理・企画・経理部門副担当
依田 博実
（ＴＥＬ．　０３-５４３４-８６１１）

平成 25 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 24 年 5 月 10 日に公表いたしました平成 25 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日）の連結業績予想と、本日公表の平成 25 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の実績値に差異が生じましたので、下記の通りお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、通期の連結業績予想についても修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成 25 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想値と実績値の差異（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）（平成 24 年 5 月 10 日発表）	148,100	9,400	8,200	5,600	14.78
今回発表実績値（B）	139,101	7,700	6,942	3,720	9.94
増減額（B－A）	△8,999	△1,700	△1,258	△1,880	―
増減率（%）	△6.1	△18.1	△15.3	△33.6	―
(ご参考)前期実績(平成24年3月期第2四半期)	132,448	6,052	5,032	2,769	7.30

平成 25 年 3 月期通期連結業績予想値の修正（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）（平成 24 年 5 月 10 日発表）	312,000	23,300	20,800	12,500	32.99
今回発表予想（B）	292,000	15,500	13,000	7,400	19.81
増減額（B－A）	△20,000	△7,800	△7,800	△5,100	―
増減率（%）	△6.4	△33.5	△37.5	△40.8	―
(ご参考)前期実績(平成 24 年 3 月期)	251,358	8,599	6,499	5,922	15.63

差異及び修正の理由

（１）平成 25 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想値と実績値の差異理由

平成 25 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績は、世界経済の減速、特にハードディスク(HDD)市場の悪化により、売上高、営業利益、経常利益は計画を下回りました。また、昨年 10 月に発生したタイ大規模洪水に起因する災害による損失 1,461 百万円及びスピーカーの生産委託先が実質的な経営破綻に陥ったことによる貸倒引当金繰入額 669 百万円を特別損失に計上したことで、当期純利益に影響いたしました。

（２）平成 25 年 3 月期通期連結業績予想値の修正理由

第 3 四半期連結会計期間以降の事業環境は、引き続き欧州の政府債務問題に端を発した世界景気の減速や、日中関係の悪化による中国での販売減少などが懸念され、厳しい状況が続くものと予想されます。IT 関連市場では、特に HDD 市場の低迷が見込まれることから、ピボットアッセンブリー、ボールベアリング及び HDD 用スピンドルモーターなどの関連製品の販売の低迷が当面続くと予想されます。また、情報モーター等の各種モーター製品も自動車、OA 市場向け等の販売の減少が予想されます。一方、ロッドエンドベアリング等の航空機用部品は需要が好調で販売が増加する見込みです。液晶用バックライトもタブレット PC 市場及びスマートフォン市場が好調に推移する見込みで順調に販売の増加が続くと予想されます。このような状況の中、現時点の予想可能な範囲で当社の業績に与える影響について見直しをいたしました。

（注）本業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。
実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以　上